

排水管の更新

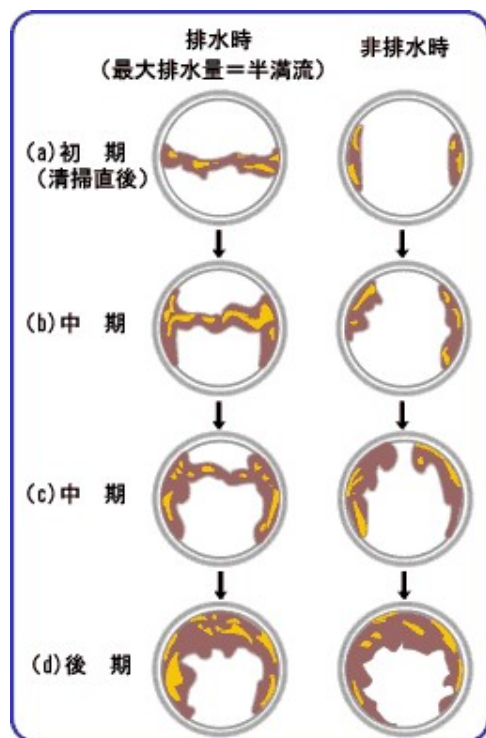
建物は躯体と共に設備も劣化して来ます。特に給排水管の劣化は、住民の日常生活に直接関係する重要問題です。そして給排水管は共用管と室内の専有管にまたがり、その取扱いにも色々と問題点が発生して来ます。建築から年数がたつ建物では、管の詰まり、腐食や錆による漏水等のトラブルが発生するので配管の更新工事が必要になってきます。

排水管の現状

動物脂の凝固温度は約22～45℃ですので、排水が流れていくうちに冷却され、凝固します。また、植物油は洗剤によりエマルジョン化して同様に凝固していきます。それらの半凝固・凝固状のスカムが排水に浮遊しながら、あるいは混ざりながら流下して排水管内壁に付着して、排水の度に付着量が増加し、排水管内の流下断面積を狭くしていくのです。又、近年では腐食による劣化が社会問題となっております。



図A



図Aの様な経過で、排水管は徐々に閉塞していきます。上記の写真は築20～30年の建物の排水管です。写真A・Bの状態であれば高圧洗浄による更生が出来ると思いますが、写真CやDの状態になると油脂分は硬化し配管の入れ替える必要があります。



各種更新工事に対応いたします。是非ご相談ください。